

【3D デジタル収集品の作成、管理、および表示】 Dapper Labs Inc

①要約：

Dapper は、デジタル化された収集品である NFT の基礎を築いた先駆的な存在です。野球のカードなど物理的な収集品がデジタル化されている流れにおいて、改ざんや発展性の限界がありましたが、この会社は NFT の技術と 3D 化を組み合わせることで、デジタル収集品の発展性を高める発明技術を開発しました。

②目的：

この発明の目的は、NFT を利用して野球のカードなどの収集品を 3D 化し、様々な情報を組み込むことで、収集品の価値と希少性を高め、その結果として経済価値を生み出すことです。発明技術は、3D 表示やランク付けなど、収集品の魅力を高める機能に焦点を当てています。

③新規性：

この発明技術は、NFT の利用と 3D 表示を組み合わせることで、従来のデジタル収集品の改ざんや発展性の限界を克服した点で新規性があります。また、複数の情報やランク付けなどの要素を組み込むことで、収集品の付加価値を高める点も新しいアプローチであり、他の NFT 関連企業と差別化を図っています。

④独自性：

この発明技術は、3D 表示や情報の組み込みによる収集品のデザインや魅力の向上に焦点を当てています。発明は広範囲に取得されており、この技術を活用した NFT の作成や販売において、他社との競争上の優位性を確保しています。

⑤経済価値：

この発明技術により、具体的なスポーツや選手の情報を組み込んだ 3D 表示の NFT が作成され、その希少性や付加価値によって経済価値が生まれます。NFT 市場において、希少性の高い収集品が高額で取引される傾向があるため、この会社の発明技術による NFT は経済的な成果を期待できます。また、他のスポーツやプロ野球などへの展開も可能性があり、さらなる経済価値の拡大が見込まれます。